

取扱説明書



FeliCa® カード対応電気錠システム

エントリーロック
ENTRY LOCK® MS800

MS800-W-SH



もくじ

電気式錠前取扱上の注意事項 1,2

はじめに

各部の名称 3
製品の概要 4
2 ロックセキュリティ機能 5

基本的な使い方

電動で施錠する 6
電動で解錠する 7
手で施錠 / 解錠する 8

その他の使い方

自動施錠機能 9
HA 端子による外部機器連動 10
ケータイホームシステム連動 11
警備連動機能 11,12

カード・キーの管理

はじめて FeliCa® カードを登録する 13
FeliCa® カードを追加登録する 14
FeliCa® カードを紛失した場合 15
セキュリティカードについて 15

困ったとき

施錠 / 解錠動作に異常が生じた場合 16
停電や機器故障時の操作 16
電気錠・リーダー・増設操作盤の再登録 17,18
故障かなと思ったら 19
仕様 20

お客様用
保存版

販売店・工務店の皆様へ
この取扱説明書は施工完了後、
お客様へお渡しください。

■電気式錠前取扱上の注意事項



植込み型医療機器(心臓ペースメーカー等)の装着者が使用する場合は、リーダーから植込み型医療機器の装着部位を12cm以上離して使用してください。また、電波による医療用電気機器への影響については、担当医師や医療用電気機器製造業者などにご確認ください。

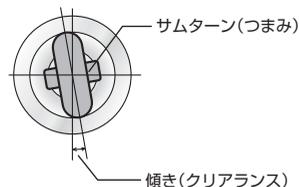
※リーダーの位置は、3ページの「各部の名称」をご覧ください。

FeliCa® カードのお取り扱いについて

- FeliCa® カードを車中に放置したり、日の当たる場所、ストーブのそばなど高温になる場所に放置しないでください。また、穴を開ける、強い衝撃を与える、折り曲げるなどすると破損、変形して使用できなくなる場合があります。
- 硬貨など金属のもの、アルミ箔や金属を含んだものや他の非接触 IC カードと重ねて使うと反応しない場合があります。定期入れなどに他の非接触 IC カードと一緒にに入れて使用しないでください。
- FeliCa® カードの紛失、盗難、水濡れ、き損に対しては責任を負いかねますので、お取り扱いにはご注意ください。

長くお使い頂くためにご留意頂きたいこと

- 精密な電子部品等を使っていますので分解や改造をしたり、強い衝撃をあたえたりしないでください。
- 散水による水洗いは避けてください。また、雨露の直接かからない場所でお使いください。
- 温泉地など特殊ガス発生地域、浴室などの多湿の場所では使用しないでください。
- 施錠解錠操作後、サムターン(つまみ)に少し傾きが生じる場合があります。これは確実に電気操作でロックの施錠解錠を行うためにクリアランスを設けているために生じる現象であり故障ではありません。
- 作動中(サムターンの回転中)及び電子音になっている間は、ハンドル・サムターンを操作しないでください。作動完了前(電子音が鳴り終わる前)にハンドル・サムターンを操作すると故障の原因となります。
- 施錠するとき、キーやサムターンがきちっと最後まで回ったことを確認してください。鎌式アッドボルト(かんぬぎ)が出て錠が掛かります。尚、施錠後はハンドルを操作して錠が掛かったことを確認してください。
- キーの抜き差しや回転操作が悪くなったなら、柔らかい芯の鉛筆の粉や黒鉛粉、またはシリンダー専用の潤滑剤(粉末タイプ、シリコンを含まないタイプ)を使用してください。鉛筆を使用する場合は、キーの切り込み面を鉛筆でなぞったあとキーで抜き差しを数回行ってください。錠穴には絶対に油を注さないでください。注入直後は操作が良好でもホコリを吸着してかえって動きを悪くします。また、シリコンを含む潤滑剤を使用しないでください。故障の原因となります。
- コピーしたキーを使用した際、キーの抜き差しや回転操作が悪くなり、シリンダーに悪影響を及ぼすことがありますのでアルファ純正キーをご使用ください。
- 錠穴に異物(例えば針金やマッチ棒など)を入れないでください。異物が詰まるとキーの操作ができなくなります。
- 経年変化により戸先の垂れ下がり、ソリ、曲がり、歪みなどが生じて枠と接触し、錠がスムーズに動かない場合があります。ドア全体の修理が必要となりますので速やかに建築物の管理責任者、施工業者または建具メーカーに依頼してください。



- 錠のフロントやストライクの表面に保護シートが付いている場合は必ずはがしてください。そのまま放置されますと、保護シートに着いている糊などの影響でサビが発生したり変色することがあります。
- 換気扇などの機械換気を行ったまま外出される場合は、換気口を必ず開けてください。開けていないと、室内の圧力差によって玄関ドアが室内側に引っ張られるため、電動による機器での解錠ができなくなる場合があります。

お手入れについて

- 長期間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れはシミや腐食の原因となります。汚れが軽い内に清掃してください。清掃の目安は少なくとも月に1～2回程度です。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいのでこまめにお手入れをしてください。

お手入れ方法

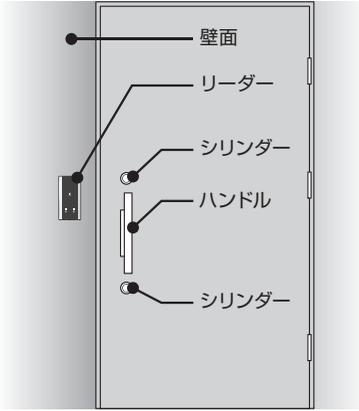
- 製品の損傷、サビ、腐食、変色などを防止するために次のことをお守りください。
 1. やわらかい布でやさしく乾拭きしてください。ゴシゴシ強くこすらないでください。
 2. 落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤を薄めた液をやわらかい布またはスポンジにしみ込ませてから良く絞って拭き取り、その後洗剤の成分が残らないように十分に拭き取ってください。
 - ・ 中性洗剤の液や水が製品にかからないようご注意ください。
 - ・ サンドペーパー、堅いブラシまたはシンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。

盗難悪用防止のために

- 施錠忘れによる盗難等の被害が多くありますので施錠の確認は必ず行ってください。
- キー（あるいはカードキーなど）には使用場所がわかる表示は付けないようにしてください。紛失したときに悪用される恐れがあります。
- 日常、キーを利用する必要のない電気式錠前でも機器の故障、停電（電池切れ）などに備えてキーは必ず持参してください。また、スペアキーは使用時以外は大切に保管しておいてください。

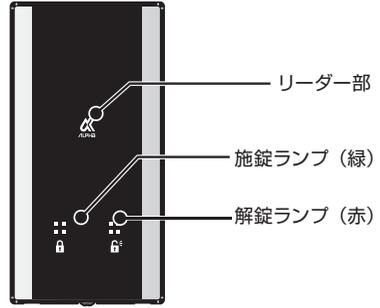
はじめに

■各部の名称

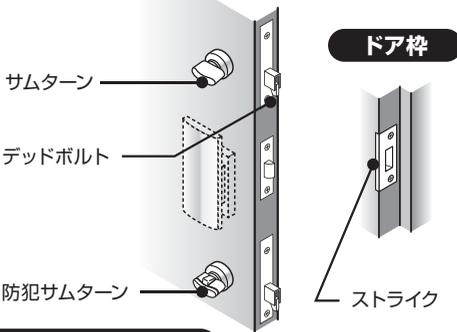


ドア内側

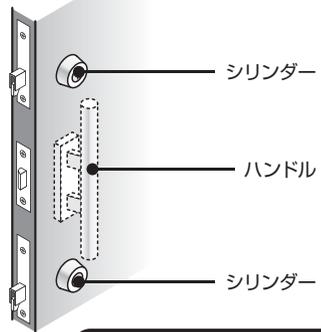
リーダー



ドア外側

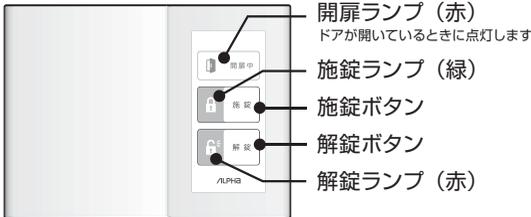


ドア枠

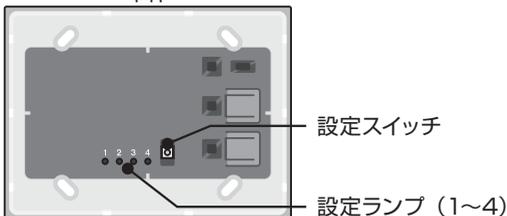


電気錠操作盤

※増設操作盤はオプションです。施錠 / 解錠の操作方法は電気錠操作盤と同じです。
カバー



本体



電子キー

FeliCa®カード



キー



重要

停電や機器故障に備えて
外出時は必ずキーを所持
してください。

■製品の概要

本機は FeliCa[®]カードをリーダー部にかざすことで鍵 ID を照合し、施錠 / 解錠ができる電気錠システムです。
また、操作盤のボタンでドアから離れた場所でも施錠 / 解錠ができます。



！重要

- FeliCa[®]カードは非接触式ですので定期入れなどに入れたままでも認証が可能ですが、他のICカード乗車券、電子マネー、金属製(キーなど)のものと同重ねて使用すると通信距離が短くなったり正しく照合できない場合があります。



最大
20枚(ID)
まで登録

FeliCa[®]カードまたはIDを追加でご購入いただくと合計で最大
20枚(ID)まで登録することが可能です。 **14**へ→

😊ポイント

- おサイフケータイ機能付きの携帯電話を FeliCa[®]カードキーと同様にキーとして使うことができます。株式会社 KESAKA システムのサイトから kesaka-ID (有償) を購入していただくことが必要です。機種変更の際には再度 ID の購入が必要になります。

KESAKA システム サイト アドレス <http://www.kesaka.net/mobile/>

■2 ロックセキュリティ機能

連動施錠

解錠状態時、上側のロックをキー・サムターンで手動施錠すると、下側のロックも連動し施錠されます。

※施錠状態時、キー・サムターンによる連動解錠はできません。(ピッキング、サムターン回し対策)

片掛かり施錠防止機能（常時2ロック施錠を保持します）

施錠状態時、どちらか一方のロックをキー・サムターンで手動解錠し、扉を開けずにそのままの状態にしておくと、25秒後に自動施錠されます。

※両方のロックを解錠しても扉を開けなければ、最初のロックを解錠してから25秒後に自動施錠されます。

！
重要

- 上記両機能は、ピッキングなどによる不正解錠を完全に防止するものではありません。万が一の場合などの補償はございませんのでご了承ください。

基本的な使い方

■ 電動で施錠する

操作方法

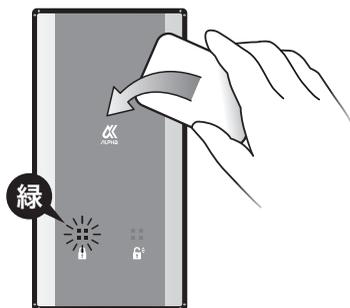
FeliCa® カードで施錠する場合

1 FeliCa®カードをリーダー部にかざす

FeliCa®カードをリーダー部の  にかざします。
電子音「ピッ」が鳴ります。

2 2ロックとも施錠される

2ロックとも施錠され、電子音「ピー」が鳴りリーダーの施錠ランプ(緑色)が一定時間点灯します。



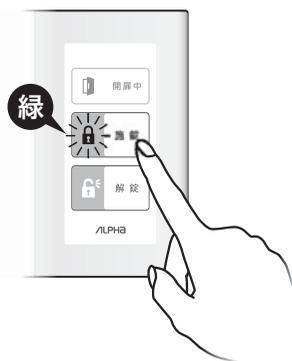
電気錠操作盤で施錠する場合

1 施錠ボタンを押す

開扉ランプが消えている状態で施錠ボタンを押します。

2 2ロックとも施錠される

2ロックとも施錠され、電気錠操作盤の施錠ランプ(緑)が点灯します。

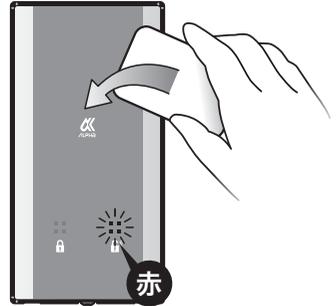


■ 電動で解錠する

操作方法

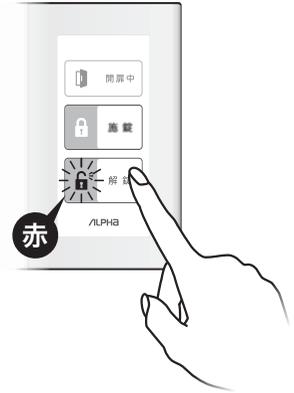
FeliCa[®]カードで解錠する場合

- 1 FeliCa[®]カードをリーダー部にかざす**
FeliCa[®]カードをリーダー部の  にかざします。
電子音「ピッ」が鳴ります。
- 2 2ロックとも解錠される**
2ロックとも解錠され、電子音「ピピッ」が鳴りリーダーの解錠ランプ(赤色)が一定時間点灯します。



電気錠操作盤で解錠する場合

- 1 解錠ボタンを押す**
開扉ランプが消えている状態で解錠ボタンを押します。
- 2 2ロックとも解錠される**
2ロックとも解錠され、電気錠操作盤の解錠ランプ(赤)が点灯します。



- 解錠後、ドアを開けずに約25秒たつと2ロックとも自動で施錠されます。

■手動で施錠 / 解錠する

操作方法

サムターンで施錠する場合

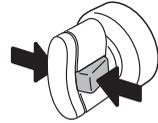
1 上側のサムターンをまわす

上側のサムターンを施錠方向に回します。

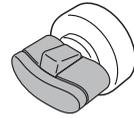
防犯サムターンはボタンをつまみながら

2 下側のサムターンは連動施錠される

連動施錠機能の働きで上側を施錠すると下側の錠を自動施錠して常に2ロック施錠状態を保持します。



施錠方向に回す



ポイント

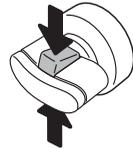
- 下側のサムターンを回しても、上側のサムターンは連動施錠しません。
- 下側のサムターンは防犯サムターンですので、つまみの両脇にあるボタンをつまみながらサムターンを回してください。

サムターンで解錠する場合

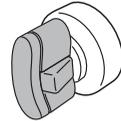
1 2つのサムターンをまわして解錠させる

上下2つのサムターンを解錠方向に回して解錠させます。

防犯サムターンはボタンをつまみながら



解錠方向に回す

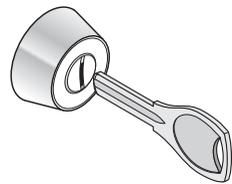


ポイント

- 防犯サムターンを回す場合は、つまみの両脇にあるボタンをつまみながらサムターンを回してください。
- 片方のサムターンのみ解錠させたまましばらくすると自動で施錠して常に2ロック施錠状態を保持します。
- 防犯のためサムターンでの解錠操作の場合は上側のサムターンを回しても、下側のサムターンは連動して動作しません。(ピッキング、サムターン回し対策機能)
- 解錠後、ドアを開けずに約25秒たつと2ロックとも自動で施錠されます。

キーで施錠/解錠する場合

外側からキーによる解錠も可能です。この場合、上記サムターンで施錠/解錠する場合と同じ動作仕様となります。



ポイント

- 解錠後、ドアを開けずに約25秒たつと2ロックとも自動で施錠されます。

その他の使い方

■自動施錠機能

帰宅時、解錠後室内に入ってから施錠操作を行う手間を軽減する機能です。FeliCa[®]カードで解錠後、ドアを開けて閉めると自動施錠します。

初期設定では自動施錠機能は設定されていません。以下の注意事項を確認の上、必要に応じてご使用ください。

注意

- 自動施錠機能を設定した場合、FeliCa[®]カードで解錠し、一旦家に入り、FeliCa[®]カードを家の中に置いたままドアが閉まる前に外に出しまうと、戸外に閉め出されることになります。この設定により、こうした事態が発生することを十分ご理解いただいた上でご使用ください。
- 自動施錠機能は、キー、サムターンでの解錠や、電気錠操作盤、増設操作盤による解錠操作では機能しません。

動作

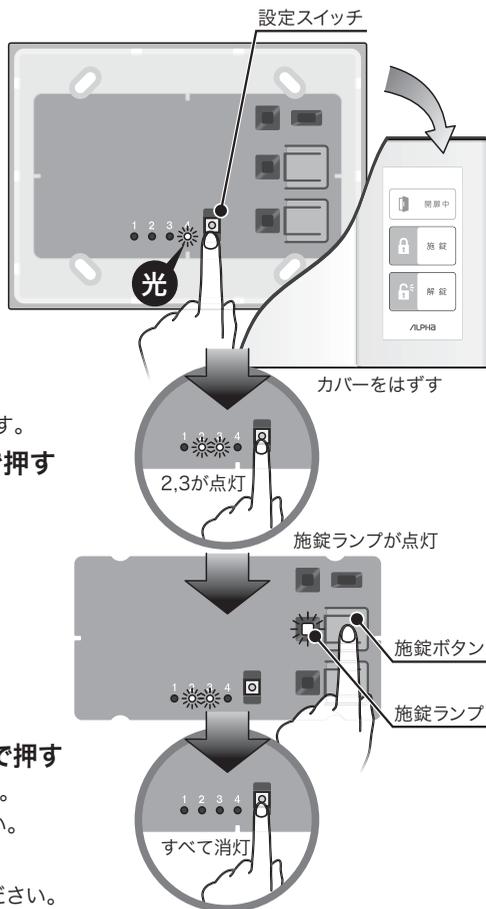
自動施錠の動作

- 1 FeliCa[®]カードで解錠する**
FeliCa[®]カードをかざして解錠します。
- 2 ドアを開ける**
ドアを開け、室内に入ってください。
- 3 ドアを閉める**
ドアを閉めると、自動で2ロック施錠されます。

設定方法

自動施錠機能の設定 / 解除

- 1 電気錠操作盤のカバーをはずす**
カバーの裏のすき間に指をいれてははずします。
- 2 設定スイッチを5秒押す**
5秒間押し続けてください。設定ランプ4が点灯します。
- 3 設定スイッチを設定ランプ2,3がつくまで押す**
設定ランプ2,3がつくまで(5回)押し続けてください。
- 4 ・設定する場合**
電気錠操作盤の施錠ボタンを押す
施錠ランプが点灯します。
・解除する場合
電気錠操作盤の解錠ボタンを押す
解錠ランプが点灯します。
- 5 設定スイッチを設定ランプ全てが消えるまで押す**
設定ランプ全てが消えるまで(10回)押し続けてください。
設定終了です。はずしたカバーを取り付けてください。
- 6 動作確認をする**
FeliCa[®]カードを持ち、正しく動作するか確認してください。



■HA 端子による外部機器連動

インターホンなど HA (JEM-A) 機器から、施錠 / 解錠できます (ドアが閉まっているとき)。機器によって動作しない場合がありますので、ご使用の場合は事前にご確認ください。

重要 ● 外部機器との配線が必要になります。配線がないと設定しても機能しませんので、ご注意願います。

操作方法

HA 機器で操作する

1 HA 機器のボタンを押す

施錠中であれば解錠し、解錠中であれば施錠します。

ポイント ● ドアが閉まっていないと施錠しません。

HA 機器解錠制限

HA 機器から施錠操作はできるが、解錠操作を不能にする特殊な設定です。必要なときのみ設定してください。

設定方法

HA 機器解錠制限の設定

1 電気錠操作盤のカバーをはずす

カバーの裏のすき間に指をいれてははずします。

2 設定スイッチを5秒押す

5秒間押し続けてください。設定ランプ4が点灯します。

3 設定スイッチを設定ランプ2がつくまで押す

設定ランプ2がつくまで (3回) 押し続けてください。

4 ・HA 機器の解錠制限をする場合

電気錠操作盤の施錠ボタンを押す
施錠ランプが点灯します。

・HA 機器の解錠制限を解除する場合

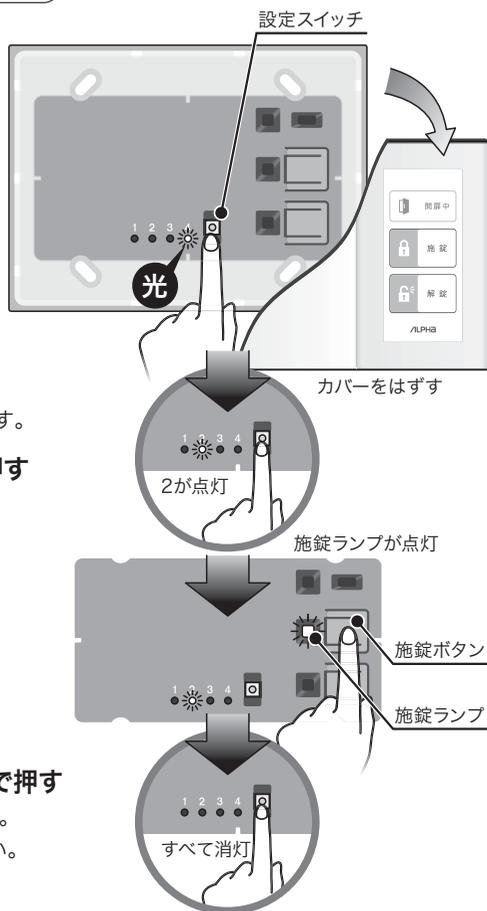
電気錠操作盤の解錠ボタンを押す
解錠ランプが点灯します。

5 設定スイッチを設定ランプ全てが消えるまで押す

設定ランプ全てが消えるまで (12回) 押し続けてください。
設定終了です。はずしたカバーを取り付けてください。

6 動作確認をする

携帯器を持ち、正しく動作するか確認してください。



■ ケータイホームシステム連動 (モデル No. 「CN-82」 のみ設定可能)

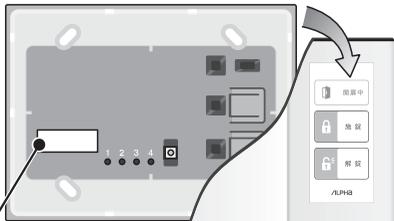
株式会社 NTT ドコモのケータイホームシステムと接続することで、携帯電話から施錠錠状態を調べたり、遠隔施錠や、帰宅メールを受け取るなどの機能拡張が出来ます。

モデル No. は機器のラベルで確認してください。(右図参照)

重要

- 外部機器との配線が必要になります。配線がないと設定しても機能しませんので、ご注意ください。

ラベル(モデルNo.)



カバーをはずす

設定方法

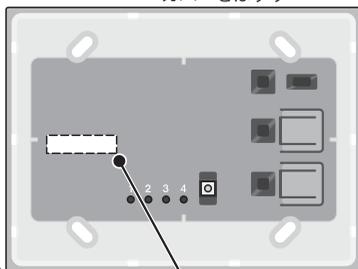
ケータイホームシステムを設定する

ケータイホームシステムの設定は、株式会社NTTドコモの取扱説明書の「電気錠の設定について」をご参照ください。

設定には、電気錠のMACアドレスとIPアドレスが必要です。

- MACアドレス: 電気錠操作盤のカバーの下、盤面上シールに記載
- 電気錠操作盤のIPアドレスは固定です。(DHCP非対応)
- 電気錠操作盤が1台のみの場合: 電気錠操作盤の設定はありません。
- 電気錠操作盤が2台以上の場合: あらかじめ電気錠操作盤の設定が必要となります。

※設定方法については取付説明書をご参照ください。



MACアドレス

■ 警備連動機能 (モデル No. 「CN-82」 のみ設定可能)

警備会社の警備システムを導入している場合、下記の操作で設定・操作を行うと、施錠 / 解錠と同時に警備会社の警備システムをセット・解除できます。(警備システムにより、対応しないものもあります。)

重要

- 外部機器との配線が必要になります。配線がないと設定しても機能しませんので、ご注意ください。

操作方法

警備をセットする

1 ドアを閉める

室外に出て、ドアを閉めてください。

ポイント

- ドアを閉めないで操作すると、カードの追加登録モードになってしまいますので、気をつけてください。

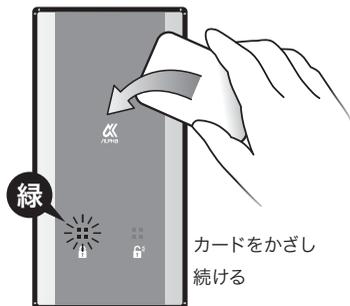
2 FeliCa[®]カードを 3 が終わるまでかざし続ける

3 2ロック施錠後、警備がセットされる

2ロックとも施錠され、電子音「ピー」が鳴った後もかざし続けると、「ピーー」と長く鳴り、施錠ランプ(緑)が点滅し、警備がセットされます。

ポイント

- 途中でカードを離すとセットされません。



警備を解除する

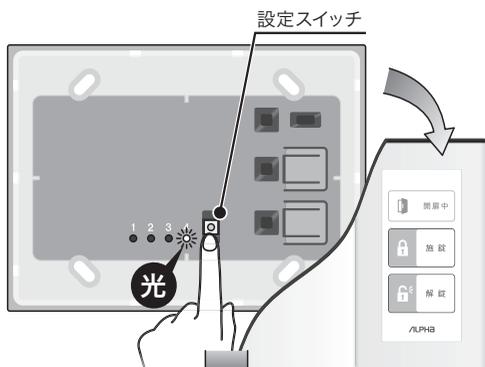
1 FeliCa[®]カードで解錠する

FeliCa[®]カードで解錠をすると、同時に警備も解除され、解錠ランプ(赤)が点滅します。



ポイント

- 設定により、手動解錠でも警備を解除することができます。その際は両方のロックを解錠します。



設定方法

警備システムを設定する

1 電気錠操作盤のカバーをはずす

カバーの裏のすき間に指をいれてはずします。

2 設定スイッチを5秒押す

5秒間押し続けてください。設定ランプ4が点灯します。

3 設定スイッチを設定ランプ2,4がつくまで押す

設定ランプ2,4がつくまで(4回)押し続けてください。

4 電気錠操作盤の施錠ボタンを押す

施錠ランプが点灯します。



ポイント

- 解除する際は、**4**の施錠ボタンを解錠ボタンに変えて操作してください。

5 設定スイッチを設定ランプ全てが消えるまで押す

設定ランプ全てが消えるまで(11回)押し続けてください。

設定終了です。はずしたカバーを取り付けてください。

6 動作確認をする

FeliCa[®]カードを持ち、正しく動作するか確認してください。

手動解錠での警備解除を設定する

1 「警備システムを設定する」の**2**まで操作する。

設定ランプ4が点灯します。

2 設定スイッチを設定ランプ2,3,4がつくまで押す

設定ランプ2,3,4がつくまで(6回)押し続けてください。

3 電気錠操作盤の施錠ボタンを押す

施錠ランプが点灯します。



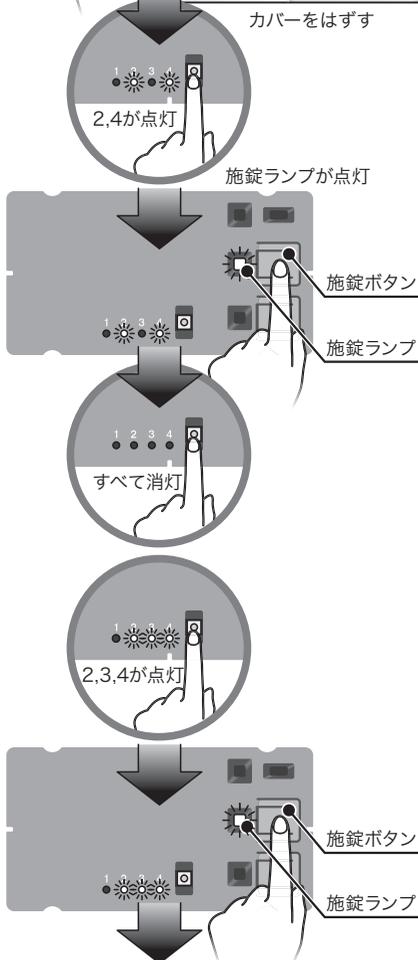
ポイント

- 設定する際は、**3**の施錠ボタンを解錠ボタンに変えて操作してください。

4 設定スイッチを設定ランプ全てが消えるまで押す

設定ランプ全てが消えるまで(9回)押し続けてください。

設定終了です。はずしたカバーを取り付けてください。



設定スイッチを押すすべて消灯させる

カード・キーの管理

■はじめて FeliCa® カードを登録する

1 枚も FeliCa®カードが登録されていない初期状態から、FeliCa®カードを登録するときの登録方法です。登録したい FeliCa®カードを全て用意して次の手順で操作してください。

FeliCa® カードを登録する

- 1 電気錠操作盤のカバーをはずす**
カバーの裏のすき間に指をいれてはずします。
- 2 設定スイッチを5秒押す**
5秒間押し続けてください。
設定ランプ4が点灯します。
- 3 設定スイッチを設定ランプが全て点灯するまで押す**
設定ランプ全てが点灯するまで(14回)押し続けてください。
- 4 電気錠操作盤の施錠ボタンを2秒押す**
2秒間押し続けてください。
開扉ランプが点灯します。
- 5 ドアを開け、解錠ランプを確認**
室外に出て、リーダーの解錠ランプ(赤色)が点灯していることを確認してください。登録終了まで点灯します。
ドアは開けたままにして操作してください。

- 6 登録する電子キーをかざす**
リーダー部に登録する電子キーをかざし、正しく登録されると電子音「ピー」と鳴り施錠ランプ(緑色)が点灯します。

- ポイント**
- すでに登録されているFeliCa®カードを間違っかざすと電子音「ピー、ピー、ピー」が鳴りエラーとなります。
 - FeliCa®カード/IDは最大20枚(ID)まで登録が可能です。

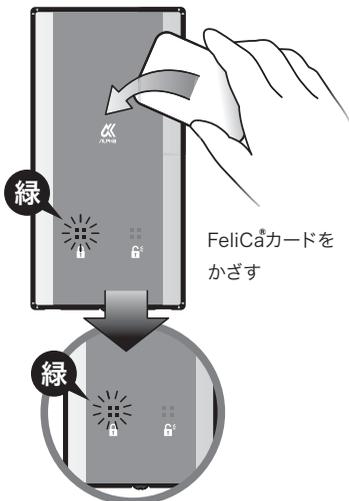
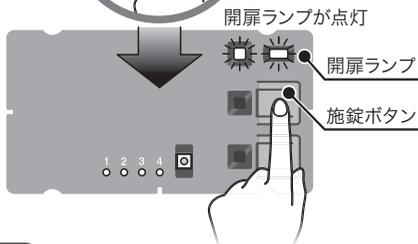
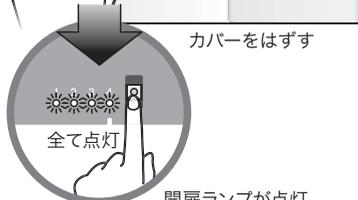
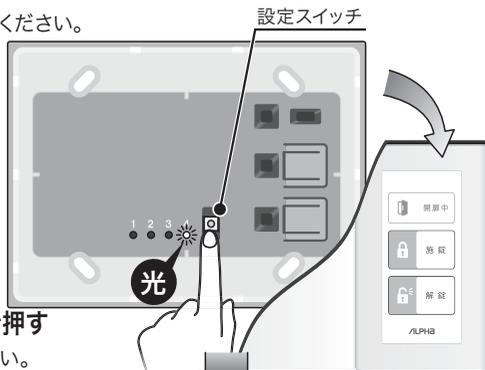
- 7 登録したいFeliCa®カードがまだある場合は6を繰り返す**
- 8 設定スイッチを押し、登録を終了する**

設定スイッチを押すとリーダーの解錠ランプ(赤色)が消灯し、登録したFeliCa®カードの数だけ「ピッ」と鳴り施錠ランプ(緑色)も点滅します。

- ポイント**
- 登録したFeliCa®カードの枚(ID)数を確認できます。
例:0ID→「ピー」、1ID→「ピッ」、2ID→「ピッピッ」

- 9 登録したFeliCa®カードの動作確認をする**

ドアを閉め、登録した全てのFeliCa®カードで施錠/解錠操作できるかを確認してください。その際、キーは必ず所持してください。



登録したFeliCa®カードの数だけ点滅

■ FeliCa[®] カードを追加登録する

既に登録してあるFeliCa[®]カードがあり、新たにFeliCa[®]カードを追加する場合、本機に登録する必要があります。登録してあるFeliCa[®]カードを含め、登録したいFeliCa[®]カードを全て用意して次の手順で操作してください。

FeliCa[®] カードを登録する

1 ドアを開けた状態にする

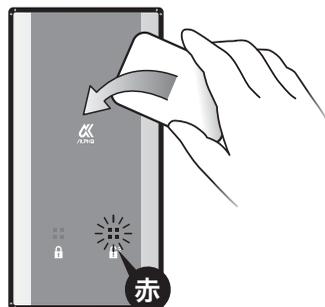
2 登録済みのFeliCa[®]カードを5秒かざす

電子音「ピー」が鳴り、登録終了まで解錠ランプ(赤色)が点灯します。

ポイント

- この操作でかざしたFeliCa[®]カードが新しく登録され、今まで登録されていたFeliCa[®]カードは全て削除されます。
- 10秒間操作しないと、「ピッ」と鳴り登録モードを終了します。
- 登録されていないFeliCa[®]カードをかざすと電子音「ピー、ピー、ピー」が鳴りエラーとなります。

FeliCa[®]カードを5秒間かざす

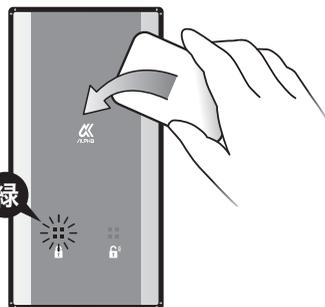


3 登録したいFeliCa[®]カードをかざす

登録するFeliCa[®]カードをかざし、正しく登録されると電子音「ピー」と鳴り施錠ランプ(緑色)が点灯します。

ポイント

- すでに登録されているFeliCa[®]カードをかざすと電子音「ピー、ピー、ピー」が鳴りエラーとなります。
- FeliCa[®]カード/IDは最大20枚(ID)まで登録が可能です。



4 さらに追加登録する場合は 3 を繰り返す

5 10秒待ち、登録を終了する

10秒間操作しないと、解錠ランプ(赤色)が消灯し、登録したFeliCa[®]カードの数だけ「ピッ」と鳴り施錠ランプ(緑色)が点滅します。

ポイント

- 登録したFeliCa[®]カードの枚(ID)数を確認できます。
例: 1枚(ID)→「ピッ」、2枚(ID)→「ピッピッ」



登録したFeliCa[®]カードの数だけ点滅

6 登録したFeliCa[®]カードの動作確認をする

ドアを閉め、登録した全てのFeliCa[®]カードで施錠/解錠操作できるかを確認してください。その際、キーは必ず所持してください。

■FeliCa® カードを紛失した場合

FeliCa®カードを紛失した場合や特定のFeliCa®カード/IDを使用できなくなる場合は、下記の手順で再登録を行ってください。

！
重要

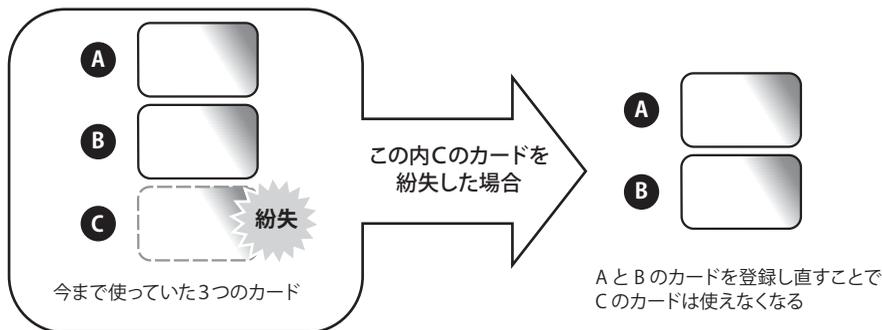
- FeliCa®カード/IDを紛失した場合、そのFeliCa®カード/IDを第三者が使用する可能性が考えられます。紛失したFeliCa®カード/IDを使えなくするためにも、ただちに対処してください。
- FeliCa®カードには所有者の名前、住所がわかるような内容を記入しないでください。
- 特定のFeliCa®カード/IDだけを指定して削除することはできません。

1 「FeliCa®カードを追加登録する」14へ→に従って登録しなおす

新たに登録したFeliCa®カード/IDに上書きされ、それ以外のFeliCa®カード/IDを使用できなくなります。

😊
ポイント

- 紛失した(登録しなかった)FeliCa®カード/IDが使用できなくなります。



■セキュリティカードについて

セキュリティカードは、オーナーであることを証明する大切なカードです。

追加キーをご注文の際は、セキュリティカードを提示していたいた場合のみお請けいたします。

！
重要

- セキュリティカードを破損、紛失、盗難された場合カードの再発行は安全上の理由で行いません。
- セキュリティカードは安全な場所に保管してください。



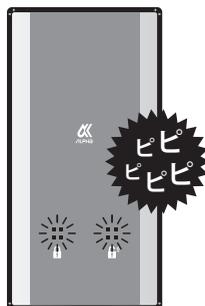
困ったとき

■施錠 / 解錠動作に異常が生じた場合

施錠あるいは解錠できなかった場合

作動中に施錠あるいは解錠できなかった場合、電子音が「ピピピピピ」と鳴り、その後、赤色/緑色ランプが5秒間点滅し、異常を知らせます。

デッドボルトがストライクへ確実に収まっているか確認し、デッドボルトがストライクにぶつかったり、こすれている場合には建付調整を行ってください。また、異常が発生し、上側または下側の錠の片側のみ施錠されている場合でも「施錠」表示（緑ランプ点灯）となります。再度、施錠解錠操作を行い、2ロックとも施錠させてください。

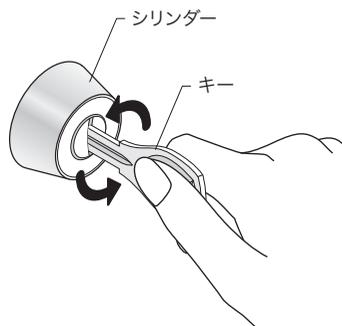


その他の異常の場合

その他の異常に関しては、「故障かなと思ったら」[19ページ](#)に書かれている状態と照らし合わせて確認してください。

■停電や機器故障時の操作

停電等で電気錠を操作できなくなった場合、室外側はキーで、室内側はサムターンで施錠/解錠してください。
(電気錠動作中の停電等による動作停止以外は上記操作で施錠/解錠できます。)



重要 ●停電や機器故障に備えて外出時は必ずキーを所持してください。

電気錠動作中に停電等により電源が切れた場合

1 キーまたは、サムターンで施錠操作側へまわせるところまでまわす

2 キーまたは、サムターンで解錠操作側へまわす

解錠できます。

重要 ●停電のタイミングにより、1ロックのみの施錠/解錠になることがあります。
●停電等から復旧し、電動で操作すると、ロックが復帰し、通常の操作が可能になります。

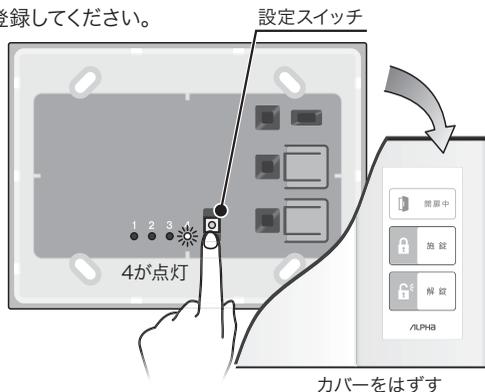
■電気錠・リーダー・増設操作盤の再登録

停電等により電源が切れた場合でも、復旧後は通常の操作が可能です。万が一電気錠・リーダーの設定がクリアされてカード・操作盤での操作ができない場合は再登録してください。

■設定方法

■設定モードにする

- 1 電気錠操作盤のカバーをはずす**
カバーの裏のすき間に指をいれてはずします。
- 2 設定スイッチを5秒押す**
5秒間押し続けてください。設定ランプ4が点灯します。



カバーをはずす

■電気錠を登録する

- 1 ドアを閉め、解錠状態にする**
ロックは上下とも、解錠してください。
- 2 設定モードにする**
上記の操作で設定モードにします。
- 3 設定スイッチを設定ランプ1,3,4がつくまで押す**
設定ランプ1,3,4がつくまで(10回)押してください。
- 4 電気錠操作盤の施錠ボタンを2秒押す**
開扉ランプが点灯します。
- 5 上のサムターンを施錠し、解錠する**
解錠状態のサムターンを施錠→解錠してください。
- 6 5の操作を下のサムターンも行う**
- 7 ドアを開ける**
- 8 設定スイッチを押す**
施錠ランプ(緑)が1秒点灯します。



●登録失敗の場合解錠ランプ(赤)が1秒点灯します。再度、最初から登録してください。

- 9 登録終了**
全ての設定ランプが消灯し、登録終了です。
- 10 動作確認をする**
電気錠操作盤で、正しく動作するか確認してください。

リーダーを登録する

- 1 設定モードにする**
前述の「設定モードにする」の操作で設定モードにします。
- 2 設定スイッチを設定ランプ1,2,4がつくまで押す**
設定ランプ1,2,4がつくまで(12回)押ししてください。
- 3 電気錠操作盤の施錠ボタンを2秒押す**
開扉ランプが点灯します。
- 4 リーダーにカードをかざす**
施錠ランプ(緑)が点灯し、電子音「ピー」が鳴ります。
かざすカードは未登録でも構いません。



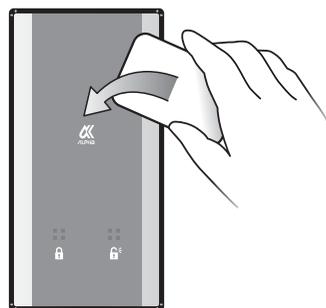
- 2つある際は、続けてかざし、登録します。一度に登録しないと、正常に動作しません。

- 5 設定スイッチを押す**
施錠ランプ(緑)が1秒点灯します。



- 登録失敗の場合解錠ランプ(赤)が1秒点灯します。配線を確認し、再度、最初から登録してください。

- 6 登録終了**
全ての設定ランプが消灯し、登録終了です。



増設操作盤を登録する

- 1 設定モードにする**
前述の「設定モードにする」の操作で設定モードにします。
- 2 設定スイッチを設定ランプ1,2,3がつくまで押す**
設定ランプ1,2,3がつくまで(13回)押ししてください。
- 3 電気錠操作盤の施錠ボタンを2秒押す**
開扉ランプが点灯します。
- 4 増設操作盤の施錠または解錠ボタンを押す**
施錠ランプ(緑)、解錠ランプ(赤)が両方点灯します。



- 複数ある場合は、他の増設操作盤もボタンを押し登録します。一度に登録しないと、正常に動作しません。

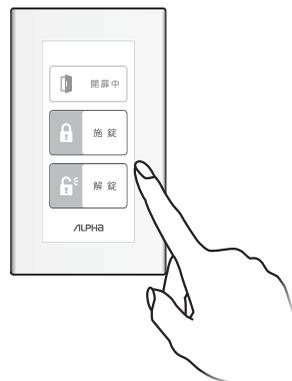
- 5 設定スイッチを押す**
施錠ランプ(緑)が1秒点灯します。



- 登録失敗の場合解錠ランプ(赤)が1秒点灯します。配線を確認し、再度、最初から登録してください。

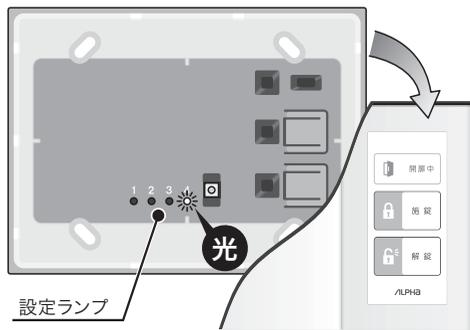
- 6 登録終了**
全ての設定ランプが消灯し、登録終了です。

- 7 動作確認をする**
すべて増設操作盤で、正しく動作するか確認してください。



各種モード一覧表

設定ランプ				モード名称
1	2	3	4	
●	※	※	●	自動施錠機能の設定モード
●	※	●	●	HA機器解錠制限の設定モード
●	※	※	※	警備システムの設定モード
●	※	※	※	手動解錠での警備解除の設定モード
※	※	※	※	新規カードの登録モード
※	●	※	※	電気錠の登録モード
※	※	●	※	リーダーの登録モード
※	※	※	●	増設操作盤の登録モード



■故障かなと思ったら

表の内容を確認しても正常に作動しない場合は、最寄りの取扱店にお問い合わせください。

現象	考えられる原因	対処方法
FeliCaカードをかざしても何も反応しない(電子音が鳴らない)	停電などで製品に電源が供給されていない	ブレーカーや他の電化製品も確認してください。
	他のICカードや電子キーと一緒に重ねている	定期入れに複数のICカードが入っていると使用できない場合があります。FeliCaカードだけをかざしてください。
	FeliCaカードのかざし方が悪い	FeliCaカードの場合カード面とリーダー部表面の距離が2.5cm以内まで近づくようにかざしてください。 4ページ
	金属、アルミ箔などと重ねている	鍵、硬貨、電子機器(携帯プレーヤーなど)、たばこの箱(中袋がアルミ箔)など金属製品と重ねないで使用してください。
	かざしている場所が通信可能な範囲からはずれている	リーダーの  マークにFeliCaカードの中心が重なるようにかざしてください。 4ページ
FeliCaカードをかざすと電子音「ピーピー」が鳴って施錠/解錠できない	かざしたFeliCaカードが登録されていない	FeliCaカードを登録してください。 14ページ
キーやサムターンで施錠/解錠できない	電気錠動作中に停電等により電源が切れた	停電や機器故障時の操作を行ってください。 16ページ
FeliCaカードをかざしても施錠しない (モーターの作動音なし、数秒後に「ピピピピ」という電子音が鳴りリーダーの施錠ランプ(赤・緑)が点滅する)	ドアが完全に閉まりきらない状態で操作したため、テッドボルトが途中で止まった	ドアがしっかり閉まっていることを確認してください。 その後、再度FeliCaカードをかざして動作の確認をしてください。 ※サムターンでも施錠できない場合は、ストライク、ドアの調整が必要です。 16ページ

■仕様

MS800仕様

動作電圧	AC100V ±10% (電気錠操作盤供給電源)、50/60Hz
消費電力	最大 25W
認証キー	アルファが発行する FeliCa [®] IC カードまたは、kesaka-ID を購入した携帯電話
登録数	最大 20 枚 (ID)
通信距離	リーダー部表面  マークと FeliCa [®] カード表面の中心の距離が 2.5cm 以内 (周辺環境による)
カード周波数	13.56MHz

使用環境

周辺温度	電気錠：-10 ~ +55°C (凍結なきこと)
	リーダー：-10 ~ +55°C (凍結なきこと)
	IC カード：使用時 0 ~ +40°C (凍結なきこと)
	電気錠操作盤・増設操作盤：0 ~ +50°C (凍結なきこと)
周辺湿度	90%RH 以下 (結露なきこと)

- ※ ケータイホームシステムは株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。
- ※ おサイフケータイは、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- ※ kesaka サービスは、株式会社KESAKAシステムの登録商標です。
- ※ FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- ※ FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。

株式会社 **アルファ**



住設機器事業部

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 1-6-8

サービス窓口

045 (787) 7422

ホームページ <http://www.kk-alpha.com>

*当社はISO9001・ISO14001を認定取得しています。

AL11C22
0072-HMA-45